

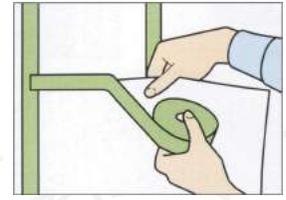


下塗り: 塩ビシート防水面用プライマー  
上塗り: シートトップ

**1** 下地素材(シート防水面)のホコリ、油分など付着物は完全に除去し洗浄し、よく乾燥させて下さい。  
(気温5°C以下湿度85%以上や天候の悪い場合の塗装は避けて下さい)

※黒ずみ汚れが残っていると密着不要となりますので、十分に除去洗浄して下さい。

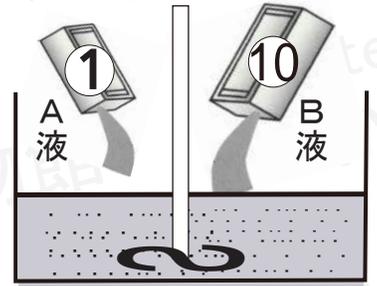
**2** 塗料が着いては困る所はテープやマスキングで養生して下さい。



**3** 【下塗り】塩ビシート防水面プライマーをA液B液共によく混ぜてください。  
※旧トップコートがシルバー系の場合は適しません。



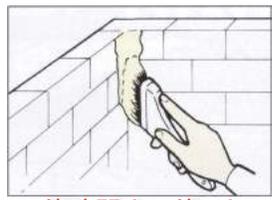
**4** 塩ビシートプライマーを(A液 1:10 B液)の割合で配合しよくかき混ぜます。



**6** ローラーで均一に塗りのばします。



**5** スミなど狭い箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。



**7** 【乾燥】5時間(23°C)以上乾燥させます。(24時間以内に上塗りして下さい)

**8** 【上塗り】エコトップ遮熱をA液B液共よく混ぜてください。

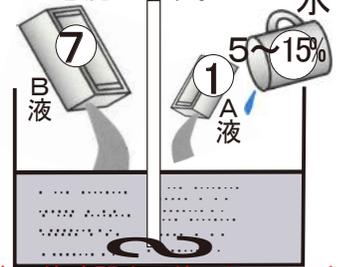


**10** 細かい箇所などは予め刷毛等で塗装しておき、ローラーで塗のばします。(A液B液配合後2時間以内に使いきってください。)



**12** 【完成】12時間以上(23°C)乾燥させます。(エコトップ遮熱が完全に乾く前に養生を取り除いてください。)

**9** A液とB液を1:7の割合で配合し、水で5~15%薄め均一になるようかき混ぜます。



**11** 4時間以上(20°C)乾燥させてもう一度塗装して下さい。(1回目塗装後4時間以上24時間以内)



- 気温5°C以下湿度85%以上の場合、また降雨、降雪、強風時および天候不良となる恐れがあるときには塗装を避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、有機ガス用の防毒マスクなど適切な保護具を着用し、皮膚に触れないようにし必要に応じて保護メガネ、保護手袋長袖作業着を着用して下さい。
- 直接皮膚に触れないように注意してください。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗ってください。眼に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 良くフタをし子供の手の届かない一定の場所を定めて、空気中の湿気と反応しますので、空気が入らないように密栓し凍結を避け冷暗所に保管して下さい。容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 製品安全データシートをよく読んで取扱ってください。
- コンクリート、モルタル面の表面に形成されるレイタンス(遊離アルカリ)、エフロレッセンスル(白華)、砂、ホコリ、ゴミ、等は密着不良の原因となる為、ワイヤー付きポリリッシャー等で完全に除去して下さい。
- 新設のコンクリート、モルタル面は、打設後約40日間以上の養生期間をとってpH9.5以下になってから施工して下さい。
- 降雨後は、下地が水分を含んでいる為、2日以上十分に乾燥させて下さい。
- 施工時及び施工後の換気を十分に行ってください。
- シーラーと上塗り塗料は絶対に混合しないでください。また、はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- シートトップは水性タイプの為、積雪地方の上塗りには、弾性トップ1.4またはスーパートップシャ熱をご使用下さい。
- 下地に断熱材が設置された極度に軟質なシート防水面への塗装は避けて下さい。
- タール系防水の場合は、防水材に含まれるタール類が表面に移行(ブリード)する恐れがあります。試験塗りの上、移行する場合は、施工を避けて下さい。
- 塗装条件、環境などにより、塗膜の本来の耐久性能が十分に発揮されない場合があります。
- 塩ビシート表面の汚れ、油分は十分に洗浄、清掃してから施工して下さい。
- 塩ビシートプライマー配合比はA液1:10 B液です(重量比)。目分量による計量、不十分な攪拌は、硬化不良の原因になります。
- 塩ビシートプライマーの可使用時間(23°C)は2時間ですので、A液とB液を混合した場合は速やかに使い切ってください。
- 金属部への塗装は避けて下さい。
- 塗布量を厳守して、シートの継ぎ目にたまりを作らないようにして下さい。
- 塩ビシート面に、浮き、破断など不具合がある場合は施工を避けて下さい。

Internet Paint Shoppe 塗料専門店直営の通販サイト  
 ぺいんとわーくす 建物館  
<http://www.paint-works.net/tatemono/>